

## ～旧・四谷コーポラスから引き継ぐ住民コミュニティー～ アトラス四谷本塩町の管理組合設立総会開催、 新たな住民活動がスタート

旭化成不動産レジデンス株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:兒玉芳樹)は、東京都新宿区で行った「四谷コーポラス」の建替え事業※1で誕生した分譲マンション「アトラス四谷本塩町」において、10月20日に開催された管理組合設立総会に伴い、新たな住民コミュニティー活動のサポートを開催しましたのでお知らせします。今後、本マンションの管理は、旭化成不動産コミュニティ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:小島速)が受託し運営します。

建替え前の「旧・四谷コーポラス」は、1956年に竣工した日本初※2の民間分譲マンションとされる建物で、耐震性能への不安や、給排水管の老朽化などを理由に建て替えられました。世代を超えて長く引き継がれた建物や土地への愛着から、従前建物(全28戸)の区分所有者のうち9割が建替え後再びマンションを取得しており、アトラス四谷本塩町のコミュニティーは、全51戸のうち、23戸が旧区分所有者、28戸が新たな区分所有者で構成されます。住民の年齢層も様々であることから、本総会後には、新旧住民による顔合わせ会を兼ね、「アトラス四谷本塩町竣工パーティー」を実施しました。

当社の分譲マンション「ATLAS(アトラス)」のデザイン思想は、「記憶の継承(歴史)、共創(コミュニケーション)、街への貢献(地域性)」の3つです。マンション建替え事業に取り組むうえで、予め決まったデザインを採用するのではなく、従前の建物や土地の歴史を踏まえ、プロジェクト1つ1つに対してデザインの方法を変え、街や住人の思いが継承される建物づくり目指しています。

今回の「四谷コーポラス建替え事業」では、建物の象徴であったブルーの玄関扉や窓枠の飾り格子を保存のうえ、共用部のインテリアに取り入れてデザインしました。また、住人の思いを継承するため、住民の皆さんや当時の事業関係者、識者の多大なご協力により、建物の歴史を書籍にまとめております。今後も、良き住民コミュニティーをしっかりと継承・形成できるよう、当社マンション建替え研究所※3を中心に、高経年マンション再生に引き続き一層尽力してまいります。

※1 ご参考:四谷コーポラス建替え時のリリース(2017年5月30日)は[こちら](#)

※2 「四谷コーポラス 日本初の民間分譲マンション」(鹿島出版会)調べ

※3 マンション建替え研究所 HP は[こちら](#)

### <10月20日:新たなコミュニティー形成を目指し実施した住民顔合わせ会の様子>



旧・四谷コーポラスの思い出話で盛り上がり和やかな会となりました



担当する管理会社 旭化成不動産コミュニティ(株)をご紹介します

【ご参考①：アトラス四谷本塩町の外観写真】



【ご参考②：アトラス四谷本塩町の共用部写真】



【ご参考③：四谷コーポラスの歴史をまとめた書籍（発刊：四谷コーポラス建替え推進委員会）】



＜本件お問い合わせ先＞ 〒101-8101 東京都千代田区神田神保町一丁目 105 番地  
旭化成ホームズ株式会社広報室  
(電話)03-6899-3010 (FAX)03-6899-3400 (メール)j-koho@om.asahi-kasei.co.jp